

平成28年度 第5回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：平成29年2月10日（金）16：00から

場所：帯広市役所10階第3会議室

出席委員

武士澤委員長、鳥宮副委員長、青木委員、赤嶺委員、鳥本委員、藤平委員、丸本委員

事務局

佐藤企画調整監、松原都市計画課長、白田基本計画係長、山崎主任、齋藤主任、大橋主任補

議 事

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 題
 - (1) 報告事項
 - ①平成28年度 都市景観形成主要建築物について
 - ②平成28年度 帯広市まちづくりデザイン賞について
 - (2) 協議事項
 - ①景観法について
4. そ の 他
5. 閉 会

議事概要

<3. (1). ①平成28年度 都市景観形成主要建築物について>

平成28年度都市計画形成主要建築物に対する意見を踏まえた検討結果について報告を行いました。

主な意見・質疑は次のとおりです。

【委 員】

アクセントカラーや文字・イラストを自然な落ち着いた感じにして、道営住宅のようなモダンでカッコいいデザインを目指したら良いと思う。

【委 員】

各棟のアクセントカラーについて、ディーブトーンに変更されているが、実際の大きな面積で見るときには、資料のような小さな面で見ると、面積効果で彩度が強く、より鮮やかに感じられる。トーンを落としたダルトーンに変えると、ソフトな感じがでてくるので検討していただきたい。

また、シンボルマークの中の白の色合いが強いので、もう少しなじんだ、自然な感じが良いのでは。

【委 員】

シンボルマークのデザインはこの案で決定なのか。

【事務局】

はい、決定です。ちなみに、もし変えられるとしたらどのようなものが良いか、ご意見があればお願いします。

【委員】

シンボルマークをつけるのは今回が初の試み。デザインが決まっているというが、方向性として、こういう絵の方が良い等、委員会としての意見を出した方が良いと思う。

【委員】

テーマカラーとして各棟のアクセントカラーを決めたのに、シンボルマークが緑色の棟は黄色いじゃがいも、黄色の棟は緑色の豆となっていて、誤認のきっかけになってしまう。ルールとして色を見るのであれば変えたほうが良いのでは。

【委員】

シンボルマークの絵のアウトラインや「空1」等の文字の色を、黒100%ではなくこげ茶やグレー等にすると落ち着いた雰囲気になるのでは。また、絵の色調をアクセントカラーに合わせてトーンを落とすだけで変わらなと思う。

【委員】

文字やイラストを浮き出し文字にすると良い。コンクリートの型枠で作るとモダンになる。

【委員】

ロゴのような、ピクト調にするとかっこよい。

【委員】

シンボルマークの位置が真ん中過ぎる。小さくして右端に寄せるとバランスが良くなる。

【事務局】

デザインについては決定済みだが、ご意見を担当課に伝え、色や配置等変更できるものがあれば検討してほしい旨伝えます。

<3. (1). ②平成28年度 帯広市まちづくりデザイン賞について>

前回(第4回)委員会以降の動き(表彰式等)について、報告を行いました。主な意見・質疑は次のとおりです。

【委員】

賞の募集件数についての新聞記事があったが、事務局ではどのような話になったのか。

【事務局】

記者の方にも素直にお話させていただきましたが、賞に応募となると設計される方もコストの関係で自信を持って自由に造れるものは少ないと思いますが、応募自体が格式高いものではなく、いいと感じられるものが賞の対象となると思ってもらえるよう、地道に伝えていくしかないかと考えています。

【委員】

今年は夏の台風関係の影響もあったのかもしれないが、2件で前年に比べて反応が薄かったと感じる。今までの受賞したものは少し額がはったイメージもあり住宅でも素晴らしいものはあるが、なかなかプライバシー関係で応募に踏み切れない場合もあるかもしれない。

【委員】

来年度に向けて応募要件等、募集についてのあり方を委員会で考え直す必要があるのかなと思う。ただ、今年度の古い建物と新しい建物の受賞についての良い報告で、古くても応募が出来ると認知された部分もあり、方向性は間違っていないと思うし、歴史も景観に含めるという部分で枠が広がったところもあるのかなと感じている。

【委員】

応募については、部門を分けず窓口を広く設けて、その都度判断すれば良いと思う。後は、建築確認申請の際に賞の周知、出来ればここを評価してますということを知らせると伝わりやすいと思う。

また、出来たものに応募の周知をするものもちろん必要だが、これから建てる人に周知することにより、景観について考えてもらうことも賞の趣旨を伝えていく方法として出来ることなのかなと思う。

【事務局】

今年度も、建築確認申請の際にチラシの配布を行っていましたが、申請までのタイミングの関係で応募に間に合わなかった方もいるかもしれません。もう少し早いタイミングで配布できるような対応が必要と感じています。

【委員】

単年度で見るとやはりタイミングは限られてしまうが、来年度は応募出来ますよと言うようなインフォメーションを行う機会として利用するのは良いと思う。

<3. (2). ①景観法について>

事務局より、北海道景観行政セミナーより寒地土木課研究所からの講演の一部の説明を行い、景観まちづくりについての勉強会を行いました。

<4. その他>

【委員】

報告になるが、昨年建築士会帯広支部がホコテンで古建築を紹介する企画をやり、その時に景観百選のパンフレットも併せて配布した。お客さんからは、「このような場所があるのですね」等多くの良い反応があった。市の方でも、もう少し宣伝すると浸透するのかなと思った。

以上